

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：平成29年6月26日（月）15時00分～15時40分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
塩見安全審査官、尾下安全審査官、牧保安規定係長、長崎技術参与
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当2名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について以下の説明があった。
 - 環境線量低減対策スケジュールについて
 - ✓ 構内全域の30mメッシュサーベイ結果は、第1四半期の走行サーベイ結果とともに、10月に報告を予定している。また、第2四半期の走行サーベイは8月に実施予定である。
 - ✓ 土捨場南側エリアは、将来的に廃棄物管理エリアとする予定である。
 - タービン建屋東側の地下水及び海水中の放射性物質の濃度の状況について
 - ✓ これまでと同様に、降雨等に起因すると思われる変化が見られたが、いずれも過去の変動の範囲内である。
 - 福島第一原子力発電所敷地境界付近及び1～4号機周辺のダスト濃度測定の統廃合について
 - ✓ 構内のダスト濃度測定については、これまでガンマ核種分析（スポット分析）とダストモニタと2つの手法を用いていたが、ダストモニタによるβ核種の連続分析により異常の検知は可能であり、異常時にはγ核種の分析も実施することから、以後スポット分析は廃止する。
- 原子力規制庁は、説明を受けた内容について確認した。

6. 配付資料

- 環境線量低減対策スケジュール
- タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
- 福島第一原子力発電所敷地境界付近及び1～4号機周辺のダスト濃度測定の統廃合について
- 原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2017年5月）
- 福島第一原子力発電所 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果（参考値）等